

2017（平成29）年度 学校マネジメントシート

三重県立上野高等学校（定時制）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		1 生徒が学びがいを実感する学校 2 保護者・地域が頼りがいを実感する学校 3 教職員が働きがいを実感する学校
(2)	育みたい 児童生徒像	1 いかなる時代においても、自ら進んで問題解決に取り組むことが出来る知力・徳育・体力を備えた生徒 2 自分を大切にし、他者の人権を尊重する心豊かな人間性を備えた生徒
	ありたい 教職員像	1 自由闊達な職場風土の中で協働と研修を通して職能成長を図る教職員 2 生徒の成長に使命と情熱を感じる真の教育専門職たらしとする教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		○生徒：確かな学力の育成と進路希望を実現し、居場所のある安心安全な学校 ○保護者：一人ひとりを大切にし、学力や社会性が身につく学校 ○中学校：一人ひとりの生徒の個性を生かし伸ばしていく学校 ○企業・事業主：基礎学力、社会性、協調性、コミュニケーション力など調和のとれた生徒を育成する学校	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		連携する相手からの要望・期待 ○保護者：一人ひとりを大切にした教育と進路実現 ○事業主：社会人としての教養やマナーの定着	連携する相手への要望・期待 ○保護者：教育活動への理解と協力 ○中学校：支援の必要な生徒への情報共有や連携した指導 ○地域の関係機関：生徒の実態理解と支援
(3) 前年度の学校関係者評価等		○不登校を経験した生徒や特別に支援が必要な生徒が入学する割合が高くなってきていることから、生徒一人ひとりに丁寧にに関わり生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、教職員の更なるスキルアップが必要である。 ○ベンチマーキングや校内外の研修を通して教職員の指導力向上を図っていく必要がある。	
(4) 現状と課題	教育活動	○不登校経験のある生徒や外国人生徒の増加に伴い、生徒同士や教職員に対するコミュニケーション能力の育成や日本語教育が必要である。 ○成人生徒の入学や他校からの転・編入生徒が増加する中、本校の教育にうまく適応できる環境の整備に取り組む必要がある。	
	学校運営等	○家庭における経済的な困窮や教育力の低下、家庭基盤の脆弱な生徒の増加に対応するために外部機関と連携した取組を進める必要がある。 ○多様化する生徒や保護者に対応するため、教職員の研修の機会を確保し、様々な研修を通して教職員の資質の向上に取り組む必要がある。	

3 中長期的な重点目標

教育活動	1 目指す学校像「生徒が学びがいを実感する学校」を実現するための重点目標 「全教職員による共通理解の下、生徒の『自己指導能力』（その時、その場で、何をすべきで、何をすべきでないかを自ら考え、判断し、行動する能力）を向上させる共通実践を継続することにより、生徒一人ひとりが自律的な学習習慣と生活態度を確立して進路希望を実現し、さまざまな教育活動に主体的・協働的な態度で取り組み、他者と共生する力を身に付けている。」という状態を重点目標とする。

2 目指す学校像「保護者・地域が頼りがいを実感する学校」を実現するための重点目標

「卓越した魅力ある教育活動の推進、学校情報の積極的な提供・発信、学校関係者評価委員会・人権教育推進協議会の活性化、適切迅速な対応などにより、保護者・地域の満足と信頼を安定的に確保している。」という状態を重点目標とする。

3 目指す学校像「教職員が働きがいを実感する学校」を実現するための重点目標

「活気のある明るい組織風土の中で教育活動・学校運営を継続的に改善するための仕組みや教職員間・校内組織間のチームワークが適切に機能するとともに、過重労働緩和・総勤務時間縮減に関する取組が適切に講じられており、大多数の教職員が本校定時制課程で勤務することに満足している。」という状態を重点目標とする。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン1：多様化する生徒に対応する新しい授業形態の研究を進め、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善に向けた取組を活性化させます。				
授業改善	活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサル化された授業やアクティブラーニングの視点を取り入れた新しい学習形態に関する研修会等の開催 ○「総合的な学習の時間」における、生徒が自ら設定した研究テーマについて調べた結果等をまとめ、発表するなど、生徒中心の授業展開 ○生徒の学ぶ喜びや、わかる楽しさを感じる授業展開 		◎
	成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒アンケートで「授業がわかりやすい」（「とてもわかりやすい」と「わかりやすい」の計、以下同じ）が80%以上 ○生徒アンケートにおいて、「総合的な学習の時間」における「取組満足度」80%以上 		
改善課題				

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン2：生徒が自らの進路希望を実現するための力を高め、進路実現をサポートします。				
進路実現	活動指標	○進路面談や進路ガイダンスを行うとともに、ハローワークや職場定着サポーターと連携した進路指導の実施		
	成果指標	○就職・進学を希望する生徒の就職・進学率80%以上		
改善課題				

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン3：人権教育を通じて仲間づくり、他者と共生する心の育成に取り組み、生徒が安心して学べる環境をつくりまします。				
人権教育	活動指標	○人権学習会2回以上、人権講演会1回開催		
	成果指標	○生徒アンケートで人権教育満足度80%以上		
改善課題				

(2) 学校運営

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン4：教育活動の内容を保護者や地域に積極的に情報発信します。				
情報発信	活動指標	○学校通信「道標(みちしるべ)」、「ほけんだより」を発行し、ホームページにも掲載		※
	成果指標	○保護者アンケートで「学校通信により、学校の様子がわかる」と回答した割合60%以上		
改善課題				

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン5：学校情報を積極的に公開・発信し、本校への理解を深める取組を行います。				
開かれた学校	活動指標	○公開授業を2回、高校生活入門講座1回の開催 ○「総合的な学習の時間」における、調べ学習を活用した「歴史と文学の散歩道(無料休憩所)」の開催		
	成果指標	○公開講座、高校生活入門講座の参加満足度80%以上 ○来校者満足度80%以上		
改善課題				

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン6：生徒面談の他、保護者を交えた三者面談を行い、保護者の願いや学校に対する要望などを聞き、教育活動に生かしていきます。				
保護者の声を聞く	活動指標	○保護者懇談会(三者面談)を年間1回開催		
	成果指標	○保護者アンケートで学校満足度80%以上		
改善課題				

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン7:校内研修や校外研修など、幅広い研修機会を通じて教職員の専門性や指導力の向上を図り、教職員の働きがいを高めます。				
教職員の資質向上	活動指標	○オフサイトミーティング、生徒理解研修会、他校との合同研修会の開催		
	成果指標	○研修アンケートで「研修内容に対する満足度」80%以上		
改善課題				

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン8:学校運営を円滑に進めるため、業務分担の見直しを行い、チームワーク力を高めるための具体的なマニュアル化を導入し、過重労働の緩和や総勤務時間の縮減に努めます。				
仕事の効率化	活動指標	○仕事の標準化(マニュアル化)を進めるとともに、担当者の創意工夫を生かす学校運営		
	成果指標	○教職員満足度アンケートで「満足」「やや満足」の合計が80%以上		
改善課題				

5 学校関係者評価

明らかに 改善課題と次への 取組方向	
--------------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	
学校運営についての改善策	